

# JS課題

## 問題1 try catch finally

```
let array = [0, 1, 2, 3, 4];

for(let i = 0; i <= 5; i++){
  console.log(array2[i]);
}
```

上の問題にはエラーがあります。

try catch文を使って、エラー文をコンソールに表示してください。

エラー自体は簡単にわかりますが直さずにしてください。

## 問題2 throw

JSにはthrow文という、こちらがエラーを作成して投げることができる構文があります。

このthrow文を使用して、「エラーが発生しました」という、エラー文をコンソールに表示してください。

## 問題3

以下のコードは、ある種類のエラーを投げます。

catch分の中で指定した3つのエラーのタイプに合わせてそれぞれのエラー文を表示するようにしてください。

その後、絶対に「エラーで表示されませんでした」とコンソールに表示してください。

エラーのタイプ：「エラー文」

ReferenceError：「指定した変数・関数は存在しません。」

SyntaxError：「構文間違いです。」

TypeError：「タイプエラーです。」

```
try {
  throw new ReferenceError();
} catch (e) {

} finally {

}
```

#### 問題 4

以下のコードでコンソールに表示するとABCの順番で表示されません。  
これをABCの順番にするために、`async/await`を使って修正してください。  
必要に応じて関数を作成して実行してください。

```
console.log("A");  
setTimeout(function() {  
    console.log("B");  
}, 3000);  
  
console.log("C");
```

#### 問題 5

郵便番号を入力すると住所を自動で取得する機能を作成しましょう。  
郵便番号を入力後、検索ボタンを押すとAjaxにて外部API（以下のサイトを参考）に  
データを送信し、住所のデータを受け取ります。  
それを検索結果の欄に表示させます。

#### 住所検索のAPI

日本郵便がAPIを公開しています。

<http://zipcloud.ibsnet.co.jp/doc/api>

このサイトに使い方が詳しく出ているので、参考にしてください。

参考画像

## 郵便番号で住所検索

郵便番号	<input type="text" value="2310023"/>
	<input type="button" value="検索"/>

### 検索結果

都道府県	<input type="text"/>
市区町村	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>